大山 晃 議員

環境にやさしい町づくりは

永野建設課長 関連機関の指導を受け適切に維持

問 合併浄化槽の導入状況は。

永野建設課長 平成27年4月1日現在、設置戸数1111戸、整備率48.4％である。

問 設置後の管理は。

永野課長 使用開始後3～5カ月以内に水質検査、年3回以上の保守点検、年1回の清掃と水質検査が義務づけられている。年1回の水質検査の受診率は93.7％で、75戸の設置者が適切な管理をしていない。浄化槽管理の指導機関である京築保健福祉環境事務所と連絡をとりながら、適切な維持管理が図られるよう努めている。

問 売電単価が下がり、設置する世帯が減ったのでは。町の予算残は今どれくらいか。

佐矢野課長 本年度当初予算に800万円計上しており、現在47万円の余裕がある。

問 ほかの環境面に投資して使っていく方向は考えていないか。

佐矢野課長 太陽光パネルの設置も年々減っており、どのような環境施策が有効か現在検討中である。

数は、現在295件あり、設置率は約11％である。補助金を受けずに設置した世帯も多く、その件数は把握できていない。

太陽光パネル設置にかげりか

問 住宅用太陽光パネルの設置状況は。

佐矢野住民課長 町の補助金を受けて設置している戸建て住宅の件

太陽光発電パネル

学童保育 6年生まで延長を

問 学童保育の状況は。

垂水子ども未来課長 放課後児童クラブは南吉富、西吉富、大平の3クラブがあり、大平では友枝小学校と唐原小学校の児童を受け入れている。7月末現在の児童数は、南吉富34人、西吉富25人、大平28人の合計87人。学年別では1年生27人、2年生23人、3年生25人、4年生12人である。

問 法では、6年生まで対象となったが、現在は4年生まで。その理由は。

垂水課長 現在の施設環境、人員配置では、成長段階の違う1年生から6年生までを同じ部屋で受け入れるのは難しい。今年度詳細なアンケートを行い、町の方針、方向性を定めたい。

コモンパーク彩葉

コモンパーク彩葉のPRは

問 上毛スマートIC開設に伴い、コモンパーク彩葉のPR活動を行ったか。

福田企画情報課長 折り込みチラシにはスマートICの位置を記載し、交通アクセス、立地条件などをPRした。今年度、6区画の販売が決まったことも、効果の一つだと考えている。

廣﨑 誠治 議員

少年海外体験学習先を英語圏へ

百留教育長 来年度決定の参考としたい

問 6月議会で、タイは軍政なので治安を心配し、行先をオーストラリアに戻すよう要望したが現実のものとなった。幸いテロは出発前日に起こり事なきを得た。来年度は行先を以前のオーストラリア、または東南アジア諸国であれば英語圏のシンガポールに見直してはどうか。

百留教育長 来年度については、さまざまな意見を聞き、広い分野で情報収集していく。議員の意見も参考資料の一つとしたい。

問 今回19名の参加児童に対し、引率者は14名だと聞いたが、税金の無駄遣いではないか。

坪根町長 新たな事業を起こすためには生みの苦しみもある。これまで24年間国際交流をしてきて、英語圏に行くのに英語を話せる職員はほとんど引率せず、業者任せでやってきた。今回は職員も行って経験し、どんな交流をするのか確認させたいと考えた。

大池公園開発計画基本構想は

問 住民投票について、町長は6月議会の答弁で否定的だった。茨城県つくば市の総合運動公園基本計画は、市予算の2分の1程度にもかかわらず住民投票を実施している。本町の計画は一般会計予算の3分の2に当たる。住民の同意を得るには臨時広報などで計画を周知させ、さらに住民投票を実施し決定すべきと思うが。

坪根町長 これまでの事業を参考にしてもらいたい。道の駅しんよしとみ、大平楽、げんきの杜など、業者任せの部分も大きかった。収支計画の甘さによる道の駅の経営不振、げんきの杜の天井落下や雨漏りなどを見れば明白である。また、これまでの事業の町負担は各々5億円以上であった。これまでの反省をしながら事業を進めている。大池公園の整備は町の負担を軽減し、職員が責任をもって知恵をしぼり努力している。これまでの事業同様、住民投票は行わないし、必要ないと考えている。

問 この事業について、「この計画は失敗する」「そんな金があるなら少子高齢化対策、福祉教育に予算をかけるべき」と言う住民の意見もあるが。

坪根町長 決して子育て支援、高齢者サービスが低下するとは思っていない。ここから新たなまちづくり、地方創生が始まるということで整備を進めている。その辺は心配ないと思っている。

台風15号の農業被害は

問 果樹、野菜、ビニールハウス、防風ネットなどの被害は。

尾崎産業振興課長 柿、栗、イチジク、ナス、オクラ、キュウリなどが被害を受けた。防風ネットの飛散、パイプハウスの倒壊が2棟、ビニールの破損が数多く見られた。被害額は、果樹約340万円、野菜約180万円、ビニールハウス約10万円、水稲・大豆については品質の低下が予想される。

問 農業被害について救済措置や支援は考えているか。また、ハッ並リースハウスは。

尾崎課長 今回の台風は国が指定する災害に該当しないため町として対応は考えていない。農業共済などの対応になる。リースハウスは町の管理になっているので町が修理する。

オクラ(成恒地区)

柿(東下地区)

台風15号による被害の様子

ひびき信用金庫宇野支店廃店は

問 6月議会以降の情勢は。

坪根町長 存続のため可能な限り手立てを模索したが、廃店は残念ながらこれ以上打つ手はない状況だ。老人会長などからATMだけでも残すことができないかという要望書をもらった。本町にはJA、ゆうちょ、コンビニのATMなどもある中で、一部の金融機関に肩入れすることは公平性を欠くことになるため、大きな負担はすべきではないと判断した。

問 げんきの杜に設置することは考えていないか。

坪根町長 げんきの杜は、個人情報などの関係もあり、職員を置くこともできないし、基本的に対応できず、あり得ないと思う。可能性があるとすれば道の駅だろうと思っている。